豊橋市長 規制緩和も期待

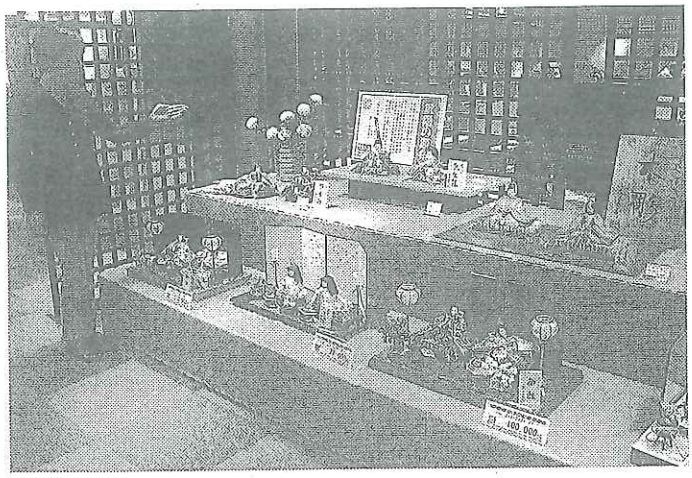
橋市の佐27日、三・ウラジ結ぶ新規の開設に、「来年ナの取り扱いし、三河取り扱い個数は年4万TEU（20フィートコンテナ換算）から、年7万TEUと5割以上も増える」と述べた。

コンテナ航路は、トヨタ自動車が田原工場からウラジオストクの組み立て工場にノックダウン用自動車部品を運ぶための航路。三河港にとってロシアの港との定期航路の開設は初めて。佐原市長は「三河港にとってヘビーユーザー。今後もコンテナ輸送の拡大につながれば」と期待を寄せた。

また、政府に要望している「国際輸入自動車特区」について「前向きに検討を進めていつ、フォルクスワーゲンなどは、インポートセンターでカーナビやナンバープレートなどの取り付けを行うことができるようになる。佐原市長は「輸入車の購入者が（船から陸揚げされる）三河港に車を受け取りにきていただければ、そのまま運転して帰ることができるようになる」と、規制緩和の意義を強調。豊橋はじめ東三河の新たな観光資源になる、との考えを明らかにした。

緩和されれば、三河港に出荷前点検・整備などを行うインポートセンター持

吉浜人形が内覧会 健康の願い託す



重陽の節句に飾るひな人形を展示している

句の人形吉浜人形屋敷町1谷毅社長、電話0566・53・5111）は、本店で9月9日の「重陽（ちょうよう）の節句」に飾るひな人形の内覧会を開催している。10月15日まで。

重陽の節句は、ひな人形を「後（のち）の雛（ひな）」として飾り、健康と長寿を願う伝統的な行事。3月3日の「桃の節句」と異なり、成人女性が自身の健康などを目的にひな人形を飾る慣習で、「菊の節句」とも呼ばれている。

内覧会では、あどけない顔立ちの「弥生雛」や着物の裾が長い「源氏雛」など70～80点のひな人形を展示している。

また9月2日にはイベント「菊とひな人形展」を併催し、会場内を約700本の菊の花で彩る。そのほか、鍼灸（しんきゅう）師でフードコーディネーターのきくち教児氏のトークショーなどを行う。入場は無料。

神谷将文取締役は「重陽の節句を知ってもらうきっかけになれば」と話している。

碧海信金 インドネシア投資解説

【安城】碧海信用金庫（福田雅美理事長）は9月14日、同金庫で海外進出に関する内容の「第3回へきしんグローバルセミナー」を開催する。自動車部品関連の事業者を中心に注目を集めているインドネシアの投資環境について解説する。

セミナーでは、日本貿易振興機構海外調査部の塚田学氏がインドネシアの市場・投資先としての魅力を紹介するほか、インドネシア共和国投資調整庁アドバイザーの松尾充哲氏が進出時のポイントについて解説する。

開催時間は午後2時半から同5時。参加費は無料。定員は50人。問

ダウン症児 海でエンジョイ

紡織の社員ら計40人。25と26の2日間のプログラム。参加者はラグーナ蒲郡でトヨタ紡織所有のクルーザーでクルージング（周遊航海）を体験。宿泊先の三ヶ日保養所（浜松市）では、バーベキュー、ダンス、カラオケなどを楽しんだ。

クルージングを体験するダウン症児ら

交流プログラムは、ことしで12年目。ダウン症児の子どもたちに社会と交流を深める機会を提供しようとの思いから、始まった。（蒲郡）

トヨタ紡織が交流活動

る。

講座は「機械製図」6・5975）まで（豊田）

い合わせは、同金庫国際部（電話0566・77・8160）まで。

来月13日に改善セミナー

西尾信金

【西尾】西尾信用金庫（近藤実理事長）は9月13日午後1時半から、同金庫本店で「ものづくり『カイゼン』セミナー」を開催する。

テーマは「改善事例から学ぶものづくり現場の改善と効果」。製造業を対象に、現場改善の基礎知識、3S（整理・整頓・清掃）を中心とした改善の基礎づくり法、改善内容と効果の事例紹介を行う。講師は、サンスタッフ総合人材サービス事業部ものづくり改善推進部部長の石川照夫氏。

受講無料。定員30人。問い合わせは同金庫企業支援部（電話0563・56・7126）まで。

浜岡原発再稼働 県民投票求める

条例制定へ 署名を提出

政府要請で全面停止している中部電力浜岡原発（御前崎市）の再稼働の是非を問う県民投票条例制定を求め、市民団体「原発県民投票静岡」は27日、静岡県に16万5127人分の有効署名を提出、直接請求した。

東京電力福島第1原発事故後、再稼働をめぐる直接請求は立地県で初めて。大阪市や東京都では市長や知事が条例案に反対意見を付け、議会で否決されている。

川勝平太知事は同日の記者会見で「住民投票がなされる方向で議論を進めたい」と言明。9月16日までに県議会の招集を告示、19日からの定例県議会に賛成の意見を付けて条例案を提出する意向で、可決されれば住民投票が実施される。